

『イベント学研究 (Journal of Eventology)』編集方針

2026年2月19日改定

目的

『イベント学研究』は、イベント学会が発行する学術誌です。本誌は、イベント学に関する学術的かつ実践的に有用な研究成果を論文として公開し、イベント分野の研究の進展に寄与するとともに、学術と実践を結びつける交流の場となることを目的とします。

掲載分野

本誌は、イベントに関わる人文・社会科学、ビジネス、心理・行動科学、観光・都市・建築、文化・芸術・スポーツ、研究方法論など、学際的領域における理論的・実践的な研究を対象とします。

理論的・実践的な研究に加えて、これらの分野における歴史的研究や計量的研究、また一つの研究分野における既存研究の動向を詳細に調査したレビュー論文の投稿を歓迎します。なお投稿論文は、学術誌に未発表のものに限ります。

投稿原稿の種類

I. 総説、原著論文、および研究資料 (査読あり)

- ① 「総説」とは、イベントを対象として研究領域にかかわる特定のテーマを文献レビューなどに基づいて包括的かつ客観的に総括したものです。
- ② 「原著論文」とは、客観性、論理性、普遍性を備えた学術的に価値の高い内容を持つオリジナリティのある研究成果をまとめたものです。
- ③ 「研究資料」とは、学術的な資料性が高い研究成果などで、客観性・論理性・普遍性などに検討の余地が残されているものの、速報性があり公表する価値があるもの。
- ④ 本原稿種別は、編集委員会が選定した査読者によるブラインド審査の対象とします。

II. 実践報告、書評 (査読なし)

- ① 「実践報告」とは、実践的な事例をまとめた研究成果などで、客観性・論理性・普遍性などに検討の余地が残されているものの、速報性があり公表する価値があるもの。
- ② 「書評」とは、本学会の諸分野にかかわる単行本の全部または一部の概要が明瞭であるとともに、その内容に従った問題提議を含むもの。
- ③ 本原稿種別は、編集委員会による基本的な校正を行い、査読は実施しません。

III. その他

「文献紹介」や「討論」などは、編集委員会が掲載の可否を決定します。なお編集委員会の判断により、「特別寄稿」を

設ける場合があります。

審査プロセス

投稿論文(原稿の種類I-①~③)の審査は、編集委員会と、編集委員会が依頼する査読者によって行われます。編集委員会は、編集委員長、副編集委員長、および編集委員によって構成され、研究分野ごとの複数の査読者は原則として会員から選ばれます。論文掲載の可否は、複数の査読者による匿名評価に基づき、編集委員会が決定します。

審査規定

- ① 投稿された論文のうち、総説、原著論文、および研究資料については、査読(審査)を受けるものとします。
- ② 編集委員会は、査読を開始する前に、投稿規定への適合性、研究倫理上の問題の有無および本誌の趣旨との整合性を確認し、その結果、査読を行うことが適当でないとは判断した場合には、査読を行わずに返却することがあります。
- ③ 編集委員会は原稿の内容に応じて、総説・原著論文には査読者2名を、研究資料には1名を選定し、査読を依頼します。
- ④ 査読結果には査読者の所見とともに以下の区分をもって評価が明記されます。
 - 掲載可 (A)
 - 修正と修正後の再審査が必要 (B)
 - 掲載不可 (C)
 - 審査困難 (D)
- ⑤ 審査困難 (D) と判定された場合には、編集委員会は直ちに他の査読者を選び、査読を依頼します。
- ⑥ 編集委員会は査読の結果を基に、掲載可 (A)、修正と修正後の再審査が必要 (B)、掲載不可 (C) のいずれかの判定を行い、その結果および査読者の評価と所見を投稿者に通知します。
- ⑦ 修正と修正後の再審査が必要 (B) な場合には査読者の判定と所見を投稿者に送付し、修正・再提出を求めます。修正対応表を作成し、本文の修正箇所は赤字で示して下さい。
- ⑧ 受理日は編集委員会で掲載可と判定された日とします。

改定規定

本編集方針の改定は編集委員会が行います。

『イベント学研究 (Journal of Eventology)』 投稿規程

2026年2月19日改定

投稿資格

本誌に投稿できる原稿の筆頭著者は、本学会の会員（個人会員・準会員のみ）に限ります。但し、編集委員会が認めた場合はこの限りではありません。

原稿の公募

『イベント学研究』への投稿論文の原稿は、年間を通じて受け付けますが、発刊は原則年1回（3月末）とします。投稿論文の原稿、論文情報、チェックリスト（Wordファイル）をイベント学会（info_info@eventology.org）までメールにて送付して下さい。投稿された原稿は、前掲「編集方針」に基づき審査を行います。

投稿原稿の様式

I. 原稿のフォーマット

原稿はWordファイルで作成し、縦A4サイズ横書きとします。用紙設定は全角40字20行（英数字は半角）で、上下左右に約25mmの余白を取って下さい。原稿には、あらかじめ25字以内のランニングタイトルも記載して下さい。フォントは日本語にMS明朝、英数字にTimes New Romanを使用し、フォントサイズは10.5ポイントとします。本文は現代仮名遣いを用い、外国語を仮名書きする場合は原則としてカタカナ表記とします。句読点には全角の読点「、」と句点「。」を使用して下さい。余白（左側）にはページごとに行番号を振り、本文のページ下部中央にはページ番号を記載して下さい。原稿の体裁については、別紙「原稿フォーマット」をご使用下さい。なお、「論文情報」と「投稿論文チェックリスト」をホームページからダウンロードし、合わせて提出をお願いします。

II. 原稿の長さ

原稿の長さは、図表を含め30ページ以内（本文より換算）としますが、編集委員会が認めた場合はその限りではありません。

原稿執筆にあたっての留意事項

- ① 原稿ファイルのプロパティから氏名を削除して下さい。
- ② 表題・副題には、和文・英文の両方のタイトルを記載して下さい。英文タイトルは、表題・副題ともに最初の語の頭文字のみを大文字とし、それ以外は小文字で記載してください。副題を付ける場合には、表題の後にコロン（:）を用いて続けて下さい。また、和文および英文の氏名・所属先の明記をお願いします。
- ③ Abstract（400 words以内）とキーワード（英語と日本語訳それぞれ5つ以内）をつけて下さい。和文抄録は、Abstractの確認（文字数の制限はなし）として英文の抄録とともに提出を求めるものであり、最終的に発行される誌面には掲載しま

せん。なお、書評にはAbstractは必要ありません。

- ④ 図表は本文とは別に掲載し、係る番号と標題をつけて下さい。
- ⑤ 注をつける場合は、本文のその箇所に注¹⁾のように通し番号をつけ、本文と論文末の引用文献との間に一貫して番号順に記載して下さい。
- ⑥ 引用文献は以下の様式でアルファベット順に記載して下さい。引用文献の記載は文章中に表記のあるもののみとします。

例) Green, B. C., & Chalip, L. (1998) Sport tourism as the celebration of subculture. *Annals of Tourism Research*, 25, 275-291.

Green, L., & Kreuter, M. (1991) Health promotion planning: An educational and environmental approach (2nd ed.). Mayfield Publishing Company.

間宮聰夫・小林淑一・野川春夫 (2003) 実践イベント学入門. サイエンティスト社

文部科学省 (2011) スポーツ基本法の条文.

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1371905.htm (参照日 2025年6月17日) .

堺屋太一 (2016) イベントこそ新時代を拓く!. イベント学研究, 1(1), 1-4.

- ⑦ 本文中の引用では、(師岡・天野, 2014)、(工藤ら, 2013)、(Green and Chalip, 1998)のように引用して下さい。また、文中で引用する場合は、師岡・天野 (2014) のように記載して下さい。直接引用の場合は、本文に「(Nogawa et al., 1996, p. 47)」のように著者名とページ数を明記して下さい。著者が2名の場合、和文の場合には中黒“・”、英文の場合には“and”を用いて下さい。ただし、著者が3名以上の場合、筆頭著者の姓の後に、和文の場合には「ら」、英文の場合には“et al.”を用いることとします。

著作権の取扱い

- ① 本誌に掲載された論文の著作権は、イベント学会に帰属します。ただし、論文の内容に関わる責任は、当該論文の著者が負います。
- ② 本誌に掲載された論文は、科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルプラットフォーム「J-STAGE」を通じて、エンバーゴ期間を設けず、継続的に無償公開されます。
- ③ 本誌はオープンアクセス誌として刊行され、掲載論文はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス (CC BY 4.0) に基づき公開されます。
- ④ 本誌に掲載された論文は、出典を明記することにより、複製、配布、転載、翻訳等の利用が可能です。

改定規定

本投稿規定の改定は編集委員会が行います。